



機械器具 72 視力補正用レンズ

高度管理医療機器 再使用可能な視力補正用色付コンタクトレンズ 32803000
(再使用可能な非視力補正用色付コンタクトレンズ 47837000)

2ウィーク アクビュー® ディファイン®

(最長2週間交換終日装用ソフトコンタクトレンズ)

添付文書をよく読み、必要ときに
読めるように保管してください。

【警告】

1. **コンタクトレンズ(以下、レンズ)の装用により、角膜潰瘍、角膜炎(感染性角膜炎を含む)、角膜浸潤、角膜びらん等の角膜上皮障害、角膜浮腫、結膜炎(巨大乳頭結膜炎を含む)、虹彩炎、角膜血管新生等が発症する可能性及び角膜内皮細胞の減少を早める可能性があります。**
レンズの装用による眼障害の中には、治療せずに放置すると失明につながるものがあります。

2. **上記の眼障害を起こさないようにするためにも、レンズを使用する際は次のことを守ってください。**

(1)装用時間を正しく守ること

レンズの装用時間には個人差があります。眼科医から指示された装用時間を守ってください。

(2)使用期間を守ること

このレンズは使用する期間が決まっています。眼科医の指示に従い、使用期間を超えることなく、定期的に新しいレンズと必ず交換してください。

(3)取扱い方法を守り正しく使用すること

レンズやケア用品の取扱い方法を誤ると眼障害につながります。レンズやケア用品(特にレンズケース)は清潔に保ち、正しい取扱い方法で使用してください。

(4)定期検査を受けること

自覚症状がなく調子よく装用していても眼やレンズにキズがついたり、眼障害が進行していることがあります。異常がなくても眼科医に指示された定期検査を必ず受けてください。

(5)異常を感じたら直ちに眼科を受診すること

レンズ装用前に眼や充血がないか、また装用後も異物感等がないか確認し、異常を感じたら眼科を受診してください。

(6) **破損等の不具合があるレンズは絶対に使用しないこと**
装用前に、レンズに破損等の不具合がないか必ず確認してください。装用中にレンズの破損等による自覚症状が発生し、自覚症状が改善しない場合は眼科を受診してください。

【禁忌・禁止】

1. 適用対象(患者)

次の人は使用しないこと

- ・前眼部の急性及び亜急性炎症
- ・眼感染症
- ・ぶどう膜炎
- ・角膜知覚低下
- ・レンズ装用に問題となる程度のドライアイ及び涙器疾患
- ・眼瞼異常
- ・レンズ装用に影響を与える程度のアレルギー疾患
- ・常時、乾燥した生活環境にいる人
- ・粉塵、薬品等が眼に入りやすい生活環境にいる人
- ・眼科医の指示に従うことができない人
- ・レンズを適切に使用できない人
- ・定期検査を受けられない人
- ・レンズ装用に必要な衛生管理を行えない人

2. 使用方法

自分のレンズを他人に渡したり他人のレンズを使用しないこと

3. 併用医療機器

MRI検査を受ける際にはレンズをはずすこと

【形状・構造及び原理等】

1. レンズの組成

(1)ソフトコンタクトレンズ分類：グループIV

* (2)構成モノマー：2-HEMA及び、MAA及びメタクリレート系架橋剤

(3)含水率：58%

(4)酸素透過係数： $28 \times 10^{-11}(\text{cm}^2/\text{sec}) \cdot (\text{mLO}_2/\text{mL} \cdot \text{mmHg})$

(5)着色剤：アントラキノン系着色剤、金属酸化物系着色剤(環状着色部)；まぶた側、ポリマー層によりレンズ内に包埋

** (6)紫外線吸収剤：ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤

紫外線吸収率：頂点屈折力-3.00Dの場合

UV-A波吸収率：約81%以上

UV-B波吸収率：約97%以上

ISO 18369-1に規定されるUV吸収コンタクトレンズ(クラス2)に適合

2. 保存液

保存液の主成分：塩化ナトリウム、緩衝剤(ホウ酸系)

3. 原理

(1)視力補正用

角結膜上に置いた異なる屈折力の物質に光線を通過させることによって起こる光の屈折を利用して、屈折異常を矯正し、レンズに施した環状着色により虹彩又は瞳孔の外観(色、模様、形)を変える視力補正用医療機器。また、レンズに含有された紫外線吸収剤により、眼障害の原因の1つとされる紫外線の、角結膜への透過を低減する。

(2)非視力補正用

レンズに施した環状着色により虹彩又は瞳孔の外観(色、模様、形)を変える医療機器。また、レンズに含有された紫外線吸収剤により、眼障害の原因の1つとされる紫外線の、角結膜への透過を低減する。

【使用目的又は効果】

(1)視力補正用

視力補正、虹彩又は瞳孔の外観(色、模様、形)を変えること

(2)非視力補正用(頂点屈折力±0.00Dのレンズ)

虹彩又は瞳孔の外観(色、模様、形)を変えること

【使用方法等】

終日装用、2週間交換、化学消毒

<使用方法等に関連する使用上の注意>

1. レンズ着脱

(1)レンズ取扱いの注意事項

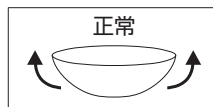
- ・爪を短く切り、丸くなめらかにしてください。
- ・レンズを取扱う前に必ず手を洗浄してください。
- ・レンズを着脱するときは、爪を立てたり、指先が直接眼にふれないようにしてください。

** (2)レンズの取り出し方

- ①右眼用レンズと左眼用レンズを確認してください。
- ②開封時には、一旦ホイルを真上に素早く引き上げるように少しはがしてから、ゆっくり残りははがしてください。容器のホイルで手指を切らないように注意してください。
- ③レンズをキズつけないように、爪を立てず容器のカーブに沿うようにして人さし指の腹でそっと容器から取り出します。

(3)レンズのつけ方

- ①装用前にレンズの表裏を確認してください。レンズを指の上のせて横から見るとき、レンズが自然なカーブを描くか確認します。レンズの縁が外側を向いている場合は、レンズが裏返しです。



- ②鏡を見ながら、レンズをのせた手の中指で下まぶたを下に引っ張り、もう一方の手の人さし指で上まぶたを引き上げ、眼を大きくあけます。



- ③レンズをゆっくりと眼に近づけ、黒眼の上にそっとのせます。



- ④レンズを黒眼にのせたら、眼をあけていた指をゆっくり離し、まばたきをゆっくりしてください。

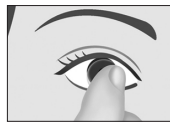


- ⑤もう一方の眼を手でかくし、左右の見え方で、入れ間違いがないかを確認してください。



(4)レンズのはずし方

- ①中指で下まぶたを引き上げます。



- ②そのままの状態でお指と人さし指でレンズの下方をつまんではずします。



2. 装用スケジュール

- (1)このレンズは最長2週間で交換する終日装用レンズです。レンズは起きている間に装用し、寝る前にははずしてください。
- (2)レンズの装用に慣れるまでのスケジュールは個人差があります。必ず眼科医の指示に従って、あなたにもっとも合ったスケジュールで慣らしてください。

【スケジュール例】

1日目	6時間
2日目	8時間
3~6日目	12時間以内
7日目以降	終日装用(標準的な装用時間:12~14時間)

- (3)装用を中断した場合再び装用を開始する場合の装用スケジュールの目安は以下のとおりです。

- ただし、必ず眼科医の指示を受けてください。
- ・1週間未満の場合は普段通りの装用が可能です。
- ・1週間以上中断した場合は、はじめて装用する場合と同じように上記の例を参考に開始してください。
- ・1ヵ月以上中断した場合は、眼科を受診してから装用を開始してください。

3. レンズケア

- (1)本品は装用後の洗浄と消毒が不可欠です。注意事項として、以下のことを守ってください。
- ・レンズ両面を十分にこすり洗いすること
- ・レンズ装用前のすすぎをすること
- ・MPSは、開封後1ヵ月を目安に使用すること
- ・使用後の消毒液は再利用しないこと
- ・消毒液は他の容器に入れ替えないこと

